

第14回WTO閣僚会議（MC14）（2026年3月26～29日）

- ヤウンデ（カメルーン）にて第14回WTO閣僚会議が開催。
- 我が国から、根本農林水産副大臣、山田経済産業副大臣、島田外務政務官が出席。
- 農林水産省関係では、
 - ・漁業補助金分野では、今後も交渉を継続していくことを確認する閣僚決定に合意。
 - ・農業については、今後の交渉の方向性に関する閣僚宣言の発出に向けた議論が行われたが、合意には至らなかった。

1. 農業及び漁業に関する結果

1. 漁業補助金分野

以下の内容について言及した閣僚決定に合意。

- ①漁業補助金協定の発効を歓迎し、同協定の最大限の履行を支持すること。
- ②過剰な漁獲能力及び過剰漁獲に寄与する特定の形態の漁業補助金に対する新たな規律を含む、包括的な規律の合意の達成に向け、交渉を継続すること。

2. 農業分野

今後の農業交渉の方向性に関する閣僚宣言の発出に向けた議論が行われたが、合意には至らず、議論を継続することとなった。

2. その他

- ・途上国に対する特別かつ異なる待遇に関するものを含むSPS協定及びTBT協定の規定の運用改善について、引き続きSPS委員会及びTBT委員会において議論を行う旨の閣僚決定が発出された。
- ・他に、MC15までのWTO改革案の合意に向けた作業計画や、電子的送信に対する関税不賦課モラトリアムの延長等について議論が行われた。しかし、一部加盟国間の考え方の相違が解決せず、未解決の案件について、引き続きWTO本部を構えるジュネーブで議論することに合意した。